

謹迎國威宣揚之誓

磐城時報

行發日一
 編輯兼發行 關田弘成
 印刷所 磐城時報社
 發行所 磐城時報社
 一部金貳圓 一月金貳拾圓
 廣告料一行十四字計五十錢
 日刊(日曜除祭日)翌日休刊

新年の辭

昭和十五年は世界人類史上に全く類例なき皇紀二千六百年といふ空前の新年である、上下六千余年間東西に國を立てたるものは千以上であるが、長くて七八百年、短きは二三十年にして滅亡を招いて居る。然るに獨り我が日本のみ既に二千六百年、一系の皇統が連綿として金甌無缺、天地無窮の國體を持續して居るばかりでなく、皇威國運は年々共に進み、東洋の盟主より更に世界平和の指導者たらんとして居る、これ實に吾々日本民族の大いなる誇りとして祝福すべき榮光ではあるまいか。

更に又一方には東洋十億の有色人をして眞の自由と平和を得せしめんが爲めに起ちし聖戰は、既に至大の効果を收め東亞の新秩序建設も亦將に其の緒に就かんとして居る、これ亦た史上絶無の聖なる大偉業であつて、斯かる光輝ある新年を迎ふることは、至上の光榮であり、幸慶である。

併しながら聖業の前途は尙ほ極めて遼遠であり、加ふるに歐洲戰亂の怒濤も復雜怪奇なるものありて、容易ならぬ苦難の年であることをも覺悟せねばならぬ、新年の御勅題「迎年祈世」に示されたる如く、この新年は單に快樂的のものではなく、世のため國のために新たに、反省覺醒して滅私奉公、捨身奮闘に邁進し、以て有終の美を濟ねばならぬのである、而して世を祈るには先づ日本臣民としての自己の完成を祈り各自精神の修練緊張を第一義とすべきである。

昭和十五年一月一日

磐城時報社

衆議院議員 星 一 一

三井 榮 一
東京市葛飾區本町立石

金 成 通

大浦村長 木村 清治

小名濱町長 縣會議員 小野 晋平

縣會議員 赤津庄兵衛

平警防團長 縣會議員 關内 正一

平市會副議長 縣會議員 蓮 沼 龍輔

貴族院議員 諸橋久太郎

平製氷株式會社 專務取締役 松本 一郎

縣會議員 早川 清久

神谷村長 佐藤庄太郎

植田町長 古川 傳一

小田 吉治

石城郡大野村長 木田 織江

石城郡玉川村 農會長 遠藤喜三郎

縣會議員 木村 守江

平警察署長 柴田 鶴作

辯護士 眞 木 桓

平市公益質屋

平市大町一八番地ノ三

六白の星 世界的動亂の 前途を透見す

古俗に星廻りとか年まわりの吉凶をいふが、それは主として九星から割り出したのである。九星とは一白、二黒、三碧、五黄、六白、七赤、八白、九紫である。これは天保の運行を九つに分けて、それぞれを運を象し、それが人間に影響して各人の性格を作成する有様をいふたものである。これは周易の八卦に大極を加へたと全然同一で、もと河圖と洛書から出た同巧異曲のものに外ならぬ、そしてこれに干支と同じく矢張り五行陰陽から出立して居る。九星の二白は易の坎に當り、共に水星、方位は易の坎に當り、共に水星、方位は北大極と五黄は土で中央、本年の六白は易の乾に當り共に陽の金であり、西北に位してゐる。そしてこの金はみがかぬあらがねである、この星は天象、乾健君父の義あり、六龍天を御するの意をふくむ、時は秋に當る、人としては剛直、福徳廣大なるも、過分の大望にて誤り、進退に窮することあり。

これを時局的に見れば、西北方に強猛なる金氣、即ち殺伐の趨勢が激動する年にて、支那の西方より外蒙方面の大戦亂、歐州西北の紛闘が十、十月頃最も壯烈なるを暗示する、又六白金は火や木と相剋なるゆへ、南方九紫の火、東方三碧の木、東南方四緑の木と摩擦すれば凶である。

文魁文堂

平市榎樋小路
堀喜一
電話三一三番

皇輝二千六百年の壁頭を飾る のんき横丁

浪界の人氣女王、天中野雲月名調子を聞かせるばかりでなく、自ら出征兵士の妻佐倉さんの一役を買つての出演です。いづらこのんき横丁の住人だつてこの非常時にのんびりしてはゐられないためにと乗り出した、爆笑に包まれた英美人種のお國情熱は、機關銃の如く飛び出す立役、現代女三銃士のメツポツレが人間に影響して各人の性格を作成する有様をいふたものである、これは周易の八卦に大極を加へたと全然同一で、もと河圖と洛書から出た同巧異曲のものに外ならぬ、そしてこれに干支と同じく矢張り五行陰陽から出立して居る。九星の二白は易の坎に當り、共に水星、方位は易の坎に當り、共に水星、方位は北大極と五黄は土で中央、本年の六白は易の乾に當り共に陽の金であり、西北に位してゐる。そしてこの金はみがかぬあらがねである、この星は天象、乾健君父の義あり、六龍天を御するの意をふくむ、時は秋に當る、人としては剛直、福徳廣大なるも、過分の大望にて誤り、進退に窮することあり。

赤らやん教育

登場人物自叙列傳
◎カサリン、ヘッパリン
私は超特作の心臓の持ち主伯母さまが百萬ドル下さると仰言るけれど私の欲しいのはあの若いプロフェッサーの愛。彼は明日結婚します、何とかして邪魔をしなさいと女の意地が立たないの？
◎ゲイリー、グランド
私は勸學の新進學徒五ヶ年かつて留龍の資格を組立てた。明日結婚する筈ですが百萬ドルの奨學資金を貰ひ貴重な骨を愛護す為には暫く此の我儘令嬢と仲好くしなければならぬです。
◎メイ、ロブソン
私は誰か奇特な方に百萬ドル贈り度うございませう、甥が豹を盗つて呉れましたがそれが逃げまわして心配でございます。
◎チャールズ、ラッグルス
わしは狩獵の名人ホラの名人と云つた方がいと仰言る人もあるがドウかと思ひます、得意は豹狩りなんぢやが、十二月廿一日より 聚樂館上映

謹賀新年

- 水野虎三郎
- 川村浩
- 安島重三郎
- 萩原義雄
- 横山太一
- 作山一枝
- 駒木根忠三
- 馬上一
- 金成淺治

平市會議員

- (順序不同)
- 松崎松治
 - 鈴木彌太郎
 - 鈴木清
 - 佐藤幸太郎
 - 吉村安治郎
 - 吉田寅之輔
 - 高橋義松
 - 山野邊義政

磐城建物株式會社
支配人 井上貞治郎

株式會社 關彰商店平支店
平市一丁目 電話六一番

銘酒 鶴仙 松吉屋酒造店

平市宇紺屋町 阿部材木店

旅館 住吉屋本店
電話 平市宇紺屋町 一五九番

喪中欠禮仕候
平市松ヶ岡公園
割烹 電話二五一番

平市宇一丁目
常盤屋時計店
電話三三九番

平市白銀町
多田井質店
電話五九一番

生花商 花友
平市白銀町 電話六九五番

丸仙魚店
平市紺屋町 電話六六二番

大床石崎 幸一

鈴木自動車部
和泉屋旅館
平市四丁目 電話二二七番

磐城時報社長
佐藤作平

肇國の精神と三大責務

文學博士 山本信哉

皇祖が我が日本帝國の國を肇開なり、政治なり、宗教なり、め給へる精神については、大み道徳なりは、悉く精神を本流とことりて「豊あし原のみづほの國を安國と平らけく知らしめす」とあるによつても、その御心の深さを伺ふことが出来ますこの建國の精神即ち大みことのりを奉戴いたさうとするには、常に國民は三つの教へを守つてゐなければならぬのであります。

第一の勸業も建國以來大切でありまして委任天皇の「農は天下の大本なり」との仰せごとく、また宣化天皇の「職は天下の元なり」との御みことりのによつても、吾々は深く察することが出来ます、殖産工業を盛んにするの富國強兵の基もこの業に他なりません。

第三の尙武も、吾が國存立上は極めて大切でありまして、又まことに當然であります。



す、三つとは敬神、勸業、尙武神功皇后は「兵は大事安危の岐がこれであります。

第一の敬神とは神を敬ふといつても吾々深く知ることが出来るのであります。

ふ意で、日本の神々は皆な日本の民族の祖先にてゐます御方々と並びに日本國家または公共團體のために直接功勞のあつた方々であります、今日の吾が國の發展の基礎を築いて下されたのは吾々の祖先の御力であり、又今日の文明にまで導いて下されたのは、即ち功勞者のお蔭であると思ふことは吾が國獨特の忠孝と敬神とを離すものではないのであります、吾が國の有らゆる學

社告

恒例に依り本紙は来る五日迄休刊、六日より平常通り發行仕候

警城時報社

謹奉賀戰捷昭和十五年新春

<p>四倉町役場</p> <p>町長 新妻 盛</p> <p>助役 長谷川 林平</p> <p>収入役 遠藤 安次郎</p> <p>在郷軍人分會長 木村 守江</p> <p>四倉警防團長 金成 岩吉</p> <p>町會議員 萬年瓦工業株式會社</p> <p>大浦村助役 渡邊 周平</p> <p>四倉合同運送株式會社</p> <p>四倉 料理屋組合</p> <p>四倉 藝妓屋組合</p> <p>四倉 産婆會</p> <p>四倉信用購買利用組合</p> <p>大久村警防團長 根本 六郎</p> <p>大野村警防團長 鈴木 明</p> <p>大日本電力 四倉變電所</p>	<p>保證 大野 信用購買利用組合</p> <p>四倉郵便局長 菅波 林太郎</p> <p>四倉小學校長 篠原 保治</p> <p>大野村國防婦人會</p> <p>會長 木村 ハツ</p> <p>保證 久之濱 信用購買利用組合</p> <p>西山眼科醫院</p> <p>四倉國防婦人會</p> <p>四倉警防團副團長 片寄 留松</p> <p>喪中に付年賀缺禮仕候 額賀醫院</p> <p>四倉鶏鳴會長 青木 公丸</p> <p>味噌、醬油、醃造 佐藤仲商店</p> <p>吉田醫院</p> <p>喪中に付年賀缺禮仕候 菅波醫院</p>	<p>佐藤齒科醫院</p> <p>新町 電話一四八</p> <p>長谷川齒科醫院</p> <p>仲町 電話一一一</p> <p>菅波齒科醫院</p> <p>本町 電話一五四</p> <p>福島製水株式會社</p> <p>四倉工場</p> <p>猪狩 寅藏</p> <p>旅籠 藤屋</p> <p>高木勝太郎</p> <p>大野村湯之澤</p> <p>水野屋本店</p> <p>長谷川 好雄</p> <p>四倉町本町 電話七番</p> <p>醬油・味噌醃造元 鱗屋醬油店</p> <p>四倉新町 電話一〇八</p> <p>日本石油特約店 關彰商店</p> <p>四倉支店</p> <p>草野村 渡邊重彌</p> <p>西山新重郎</p> <p>大野村字柳生</p> <p>鈴木牛乳店</p> <p>電話一五四番</p> <p>養生堂チエインストア</p> <p>深谷藥局</p> <p>四倉新町 電話二八</p>	<p>雙葉郡久之濱町役場</p> <p>町長 新妻 定藏</p> <p>助役 村岡敬二郎</p> <p>収入役 大須賀熊吉</p> <p>喪中に付年賀缺禮仕候 本田昆布工場</p> <p>本多 辰吉</p> <p>四倉海岸 電話一五三番</p> <p>海盛座</p> <p>齋藤 常松</p> <p>四倉仲町</p> <p>古物 伊本商會</p> <p>伊本 春松</p> <p>四倉町新町</p> <p>味噌、醬油、醃造 高木屋商店</p> <p>大浦村仁井田 電話一二六番</p> <p>銘酒「福美」 四家酒店</p> <p>四倉仲町 電話一四五番</p> <p>旅籠 石屋</p> <p>草野 又藏</p> <p>大野村湯之澤</p> <p>面川商店</p> <p>西川 龜之助</p> <p>四倉新町 電話一三番</p>
--	--	---	--



御旅館 甲陽館 平職業紹介所長 平驛前〔電話一四八番〕	石城郡内郷村長 沼田濱之助	石城郡高久村長 本馬武	石城看護婦會 平一丁目 樋口文子	平看護婦會 平市南町 清野キヨ	磐城水産工業株式會社 支配人 福尾伊太郎	旅館・御料理 小瀧 電話(小名濱)一〇番	佐々木健一郎 平市紺屋町	丸波ん家具店 平市三丁目 電話三五九番 丸波ん製作所 平市月見町 電話一八二番	根本品藏 平市月見町	味噌釀造元 小野園次郎 平市長橋町〔電話二五二番〕		
合資 平製作所 西山 惠 平市堂前〔電話四二番〕	古河石炭鑛業株式會社	磐城炭鑛株式會社	入山探炭株式會社	日曹鑛業所	大日本電力株式會社 平事務所 電話 一七四六番 七四七番	磐城無盡株式會社 社長 小宅嘉久治	賀正 加藤營業所 不二タクシ 平白銀町〔電話三三二〕	大塚製靴部 運動具部 平市田町〔電話七十七番〕	材木商 三佐藤三平商店 内郷村小島〔電話四三〇〕	浦鉾製造 折詰仕出し 藤寅蒲鉾店 菊地寅次郎 平市一丁目〔電話一四二〕		
なかや洋服店 平市三丁目 電話二〇三番	富岡事務所 平市四丁目 電話二五八番	合資會社 田邊製作所 田邊忠造	三二三屋肉店 齋藤敏實	御料理 末廣 平市田町 電話四二二番	吉田製作所 平市堂前 吉田伴吉	三瓶電氣商會 平市仲町 三瓶嘉久也	工藤鑄工所 平市彌宜町 工藤源吉	河田鐵工場 平市彌宜町 河田梅吉	金成自動車部 金成國雅	御旅館 やよひ館 平市白銀町 電話七六番	吉田屋吳服店 平市鍛冶町 電話一二二番	大都映畫 直營 會澤キマ社 平市會澤義平
諸石材彫刻 山野邊大五郎 平市紺屋町	伊勢屋商店 平市四丁目 電話四五番	小川洋服店 平市田町 電話五七〇番	宮川理髮店 宮川幸吉	堀藥局 藥劑土堀 平市二丁目 電話三二六	玉屋洋品店 平市田町 電話六五六	高木製綿店 平市紺屋町 電話四四二番	谷屋吳服店 平市新川町 電話四三七番	大黒屋 平市三丁目 電話一六六番	大村屋旅館 平市二丁目 電話一七五番	小野屋藥店 平市四丁目 電話一四四	袋屋果物店 平市四丁目 電話一一一	

年頭の辭

平市長 青沼鋒太郎

光輝燦然たる二十六年年の新春 死報國の赤誠を捧げて居るのである。迎へぬに悲しく、聖詔の無窮ある。と竹の園生の彌樂を壽き奉り併、併より其の後盾と爲りて軍費に...

御勅題

「迎年祈世」

昭和十五年御勅會始の勅題「迎年祈世」を拜し、謹みて惟ふ。本年は皇紀二千六百年に相當し、且また事變第三回の新年を迎ふるのである。この時に際して、この御題を賜はつたこと...

宮城と神宮の遙拜心得

神道名目類聚抄に曰く「遙拜すやう至誠をこめ皇居また御幸の式とは、遙拜の神社に詣でずし時は行在所の方に向ひて、最で、禮拜するをいふ」とある如く、敬禮の上、左の祝詞を奏上する...

謹賀新年

平市・石城郡 病院・醫院

鈴木 耳鼻科醫院 平市田町 電話五八番

木村 病院 平市新川町 電話一六四番

難波 醫院 平市大町 電話五〇二番

井坂 婦人科醫院 平市田町 電話五五九番

織田 齒科醫院 平市南町 電話四一六番

明雲堂 眼科醫院 平市田町 電話六六九番

實川 婦人科醫院 平市田町 電話二七〇番

木村 外科醫院 平市南町 電話三〇九番

平 醫 院 平市五町目 電話一九八番

若松 小兒科醫院 平市大町 電話五〇五番

原 齒科醫院 平市土橋 電話三一三番

高柳 耳鼻科醫院 平市白銀町 電話三三六番

小林 醫 院 勿來町 電話勿來四八番

森合 齒科醫院 植田町 電話七一七番

前田 醫 院 植田町 電話一二四番

平 病 院 平市十五町目 電話六四四番

生そばやぶ 平市田町 電話四番

白菊 廣瀨支店 電話五五番

三井 質店 電話六〇六番

織田 材木店 電話六〇六番

大平屋 藥店 電話六四二番

高橋 活版所 平市播磨小路

好間 軌道株式會社

三井 タクシー 電話六八五番

福好 工業株式會社 強口 唯七郎

魚清 食堂 電話六三三番

小松崎 洗張店 電話三七九番

上原 家政婦會 電話二二三番

下印 魚店 電話五二八番

御料理 玉よし 電話四二六番

世界 館 電話四四六番

緑川 材木店 電話四四四番

割烹 大貞 電話四一三番

百澤 商店

本澤 常松

平・四倉 乗合自動車

平寫眞師會

田中 宣治 電話五六七番

正 賀

會一り口力 (同不序順)

- 白土 德彌 金成 忠義 根本 莊次郎 星 恒明 松村 鐵郎 大和田 郡司 大森 勇 鈴木 亮 志賀 政光 重田 景治 鈴木 喜平 吉田 久雄 喪中 欠禮